

令和3年度

幼稚園だより 1月号



文京区立千駄木幼稚園

迎春

園長 渡邊 典子

明けましておめでとうございます。新年を迎え、今年はいい年になりますように、と願っています。新型コロナウイルス感染症という言葉聞いてから2年が経ち、感染症の拡大によって世界中の人々の暮らしは一変しました。もちろん幼稚園の生活もです。Withコロナといっても昨年も子どもたちの生活や行事、保護者の参観や共催行事など実施の難しいものもあり、保護者の皆様にご理解とご協力をいただいています。改めて感謝申し上げます。

そのような中で、先月千幼会の役員や保護者の皆様のご協力を得て、楽しい企画を実現することができました。1つは、お楽しみコンサートの会場を飾っていただきました。もみの木に見立てたスズランテープの使い方は私たち教師も参考になり、出演してくださった fufu のお二人も感激されていました。もう1つは、ポリ袋を活用した衣装作りです。親子製作の衣装を着てコンサートに参加する企画にご協力いただきました。園庭開放の時間を活用して、園庭で製作できるようにするには、役員の方が机の出し入れを担ってくださいました。飾りのパーツを選ぶ時には、「これかわいいね」「1つね、お友達の分も残しておかないと」と保護者。「リボンは何色にする」「青がいい」「形はどうする、マントにする?」「うん、マントにして」と子どもたち。親子の会話や保護者同士がおしゃべりしながら作る姿がありました。オレンジルームを利用されている方や家に持ち帰ってお子さんと一緒に作ってくださった保護者の皆様ありがとうございました。当日の子どもたちの嬉しそうな笑顔がかわいらしかったです。

キラキラ音楽会も、昨年より少し緩和して学年ごとに行いました。学年で参観することで、わが子だけでなく、より多くの同年齢の子の姿を見て、知って、気付くことや、お子さんの入園以降、または昨年からの成長を感じていただけたことと思います。たくさん拍手を受け、満足そうに退場していく子どもたちの姿が印象的でした。

年末年始、皆さんはどのように過ごされましたでしょうか。感染者数が減り、祖父母の方に会いに行かれたご家庭もあったことと思います。しばらく会わないと子どもたちは背丈だけでなく、言葉や立ち居振る舞いなども成長し、大きくなったと感じられたことでしょう。『百聞は一見に如かず』と言われるように、会ったり見たりする機会を大切にしていきたいと思います。

3学期、子ども会や修了式があります。子ども会では学級の友達と一つのストーリーに沿って演じることを楽しむ姿、修了式では年長児の晴れの姿をご覧ください。新型コロナウイルス感染症がまた広がりつつありますので、これまでと同様に手洗いとマスクの着用にご協力いただき、換気や消毒などの感染症対策を行いながら、新学期をスタートしていきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



飾られた舞台



コンサートにカラフルな衣装で参加



寅年(5歳児)